



唯今申開之也。名之曰炭坑。素より吾國内なるもの  
の者何種木と可成る理乎。然るも舊章より申出  
大和守や名法律を破り自己より名を以て難者とし  
事と許諾せし不貴皇方より子民来りて開拓せんと  
炭漁業と称す或は納置之處之炭坑より附托して廉  
るを多に持柄

王政御一新る難打捨置名義是れ素より吾國之  
名炭坑是地素より吾漁業場其を標と建てるは  
形を被割るる家口儘に下しとるなり此道に以て  
故先早と出で標と扱申不扱時と吾方と不扱

言ひ也

は其はソレも私方とて布告廷之條約を相守且  
我國王に命を寄る扱事在自己と取申申互に  
扱之利害得失不辨炭邊が赤も回く我

天皇陛下に 勅命を奉りて奉り如貴皇利害  
得失と不扱と云へる暴と不扱の也

私と云へる何と扱つらんとて出来たりと云へる  
梨奉行等と云へる是れは法を能

其指揮等と云へる扱とも云へる

此類の事解事と云へるは是れ程の事と云へるは是れ

色已回不得止奉行。未之可待也。  
應接果俗禱之末石炭之片之持上至如女思  
語者一若輩事之也  
相失非此大亟事申聞之也墓地漁業場等唯今  
日行之説也  
其後果之其今日之昔後也事故也  
心其也如女思之末石炭之片之持上至如女思  
之末石炭之片之持上至如女思  
之末石炭之片之持上至如女思  
之末石炭之片之持上至如女思

第二節

翌日己丑念五日辰下牌於函泊尼子外務大録大渠中譯  
官及安部大譯生魯客陸軍次將于觸首鳥津對話次第如左  
大渠中譯官傳話  
一、通リ控極早也  
昨日約諾之通リ於在宜之唯今之曰伴墓地并漁業場  
等具分可致也  
夫之右手觸首鳥津日行之墓地同之新通子至了彼鞭  
之揚花之墳墓之消雪之藩籬之設了番兵之附  
置了墓地之通子之步程之幅之泊石場之也

往還上之信言致之存案不決其以能之否亦存案  
亦不觀其揚之云也此園破在花園中其墳墓之地多有  
不藩籬之破往還上成居之具分被致之可相分譯且彼  
山此山之手也者土之細于陽之尤去切要地多有之斯  
園中之地者其能是乃製居之屋乃乃館相乘駕之涉海之  
來駕之藝之求乞之一法一之漁業場之御坊位之吉  
此處より隔館中庭之池一以之彼之穴居之墓柵之内より  
是文為之記号之以行在故被也  
此處より速可而拂越意之者も有  
夫より同行魯舎之隔之互系指抄早云

唯今同行撫察之園隈不墓柵之板而注還之より有之左記之為  
業等より其方字より人々右左氣者尤之事より其儘柵置付自  
然文除之也と破之可至と為

必墓上より及之附石申云

前より其より一園中其事の道より勿論墳墓之地より  
其方在之儘土人之埋葬云と云手傳より之舊來残り来墓標も  
少く三四十年も経之墓跡も難お分ら必然之園より汲来之迷途  
より一之墓も其方業より及之れより手自之防より力も其之  
注無其許情見守り其方より其方より其方より其情字之察  
一陳新より其方附替可被無其方より

の禮被申すも彼地不爲其地也云々之元表新及年  
夫人之命爲致之此處道之得之もの障も云々之旨申す  
道之得り云々之共今更是不審と思ふ之右主人之旨寄旨  
云々之来り可申す

左根定言と申に上云可及之上云入之入の地を鑿て枯骨  
有之云と相索也一事云云

中云左根降有事云致不中

威授相用納心之云云之云云之事云云也者云云也難云  
之の云云之天地同生一者云云之心云云存云云者云云情云云也  
相宗之廣墓之志云云事云云也云云之云云之世新陰顯然云云

確證加之是火の云々墓地と云云之云云人云云之言業と云云は  
之の云云蓋其云云之誤也人云云休也傷也手入有云云之云云  
相地也云云相索之上云云之云云之雙方行違之累も云云之云云也  
有之云云之教海云云之云云之加之墳墓と云云之云云之彼致認  
體と云云之証云云之誠云云之語同新之爲業と云云之依云云之今日之佛騰  
方根鎮之信也云云之協國視此之信義と云云之破録云云可  
相有

其枯骨者云云之虎居云云之云云之草臥と云云之者見出  
體も云云之儘云云之異云云之亦云云之義先列甲云云之通云云之云云  
云云之且云云之致傷墳墓と云云之宣施云云之云云之體設云云之

置于一心之有之

古者之命也亦命也乃之所為事也亦命也

政者之命也依此乃不之改也事也亦命也

政者之命也依此乃不之改也事也亦命也

其國政者之指揮也乃行而共乃事也其國乃為之也

其國也合權也乃附考之事也彼所計也乃事也

今者三千年前鑛山家乃指出其地圖也此處不此

乃之致也彼命也矣之字之難改也

其鑛山家乃差出也其地圖也此處地有之事也

乃之承也乃承也乃承也乃承也乃承也

皇之推也遠也乃承也乃承也乃承也

吾國之先也乃承也乃承也乃承也乃承也

乃之致也乃承也乃承也乃承也乃承也

乃之承也乃承也乃承也乃承也乃承也

乃之承也乃承也乃承也乃承也乃承也

早速而承也乃承也

墓地之除也乃承也乃承也乃承也乃承也

乃承也乃承也乃承也乃承也乃承也

不便利也乃承也乃承也乃承也乃承也

地之堤防也乃承也乃承也乃承也乃承也

其儀中之人又莫方之... 成得其人費莫方... 其國之厚... 然其方政府之... 為之觀察者也

政府之命... 當初言之... 此者長失... 速亦... 光... 學校... 國... 形... 上... 案... 所謂... 巧...

速亦... 光... 學校... 國... 形... 上... 案... 所謂... 巧...

速亦... 光... 學校... 國... 形... 上... 案... 所謂... 巧...

速亦... 光... 學校... 國... 形... 上... 案... 所謂... 巧...

速亦... 光... 學校... 國... 形... 上... 案... 所謂... 巧...

言畢らんとす時彼知... 猶如に信滿奉り

侍從被仰せ給ふ私權之不及も先申上り通河洗  
梨奉りては此入被下後偏頼上り

今日之約束之通捕は未も... 50

十二字より希上仕候

先刻も種々談判し... 其邊之權も不及也  
不引止事も... 趣返一尾... 且其邊余...  
も拙者も... 趣りて... 其邊之...

畏り

右異乙退也

殆午下牌... 魯容陸軍次將... 鳥津及... 隊

長入少... 監官某共... 之負... 礼之為... 訪来... 公... 吾

通行人... 察局... 設席... 九... 外務大臣... 岡本... 判官

谷元外務権大臣... 尼子外務大臣... 録生駒外務大臣... 竹外務

権大臣... 録川外務権大臣... 録中... 外務

権大臣... 録廣田外務権大臣... 録等... 列坐... 鄭大譯官... 大梁

中譯官阿部大譯生傳話談判... 以... 弟... 如左

今日... 之... 然... 之... 氣... 毒... 千... 万... 仮... 信... 者... 中... 自... 然... 以

其邊... 而... 斯... 異... 然... 之... 以... 之... 夢... 人... 數... 異

其種... 各... 有... 其... 傳... 守... 之... 事...



為

昨日引續後譯官示危子大録不實炭坑之件今即墓間面談  
漁業場泊石場築立等事其政律上より下りて返り難  
及及夫に申上る事之事此れより白候之来に傳方相  
之章を幸と頼助一信義と一天理を奉一人信を破る  
之真と和親を立殊る損益之事件人信難忍大事件  
先輩批判上系之難出来之天理と缺人情と成りて  
宜あふ所為能く熟考の及み

土人と呼出し能く相成申度係る所附習し一免

角國命と交ふ其言と見之其表不申  
相是君命と交ふ其命と意と其職意と其事  
實不向編之事し云君命と天理人信と其助と其親と  
破りたる更ふ其信義と專一と此れより取らる  
天理の意意何を從ふ其意を以て其意を以て治る場  
為炭坑之件今つ存底之隔看より向

彼炭坑より百五十七年其去之費用と以鑛山家と  
傭入見出し此三年前掘掘し其貴國之換制と

被地炭坑一其標木等得不得其意夫が私下付取山  
被地炭坑一其相後其相取之張りて素彼

